



## ロータリーの夢を 追い続けよう

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区  
 ガバナー——富山 富一  
 会長——細井 増雄  
 会長エレクト——長谷川 有美  
 副会長——斎藤 弘文  
 幹事——西山 徳厚  
 副幹事——藤田 紘一  
 S A A——高森 章仁  
 副 S A A——五十嵐 寿一

例会日——毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び——三条市旭町2-5-10  
 事務局——三条信用金庫本店内  
 例会場——TEL 35-3311  
 事務局——TEL 35-3477  
 FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 52名
先々週出席率	89.19%

### ヴィジター

三条南より  
 西巻克郎さん、田中康雄さん  
 三条北より  
 高橋彰雄さん、中條耕二さん、  
 外山晴一さん

### ゲスト

三条地域消防本部消防長  
 長谷部 枢 殿

### 先週のメイクアップ

2/15 三条南へ  
 古沢富雄さん、樺山仁さん  
 2/16 三条北へ  
 小越憲泰さん、渡辺喜彦さん



## 会長挨拶

### 細井増雄会長

### 続けよう



本日はお忙しいところ、三条地域消防本部・長谷部消防長様には、お出でいただきありがとうございます。

また、三条南クラブ西巻克郎さん・田中康雄さん、三条北クラブより中條耕二さん・高橋彰雄さん・外山

晴一さん、ようこそいらっしゃいました。

4月上旬の陽気となりました。最高気温が13度近くで暖かい一日となりました。ところが明日からまた冬に逆戻りということだそうです。今年1月からみると季節がひと月早く来たような暖かさです。また2月3日の節分にはまた逆戻りしたり、大雪があったり、暑さと寒さが繰り返すこれは冬から春への気候の特徴だそうです。流感は一時よりは下火になったようですが、風邪を引かないよ

うご自愛下さい。

先週はガバナーの公式訪問で当地区最後の公式訪問でした。無事終了させていただきました。皆様方のご協力に感謝いたします。当クラブにとっても今回の形式の公式訪問は初めてでありました。私も戸惑いましたが何とかうまく進み皆様のご協力が出来ました。富山ガバナーは公式訪問が終了するとガバナー事務所へ帰ってR Iの方へ報告書を提出することになる訳ですが、そのほとんどが例会前の会長・幹事会でいろいろお聞きになったことを書いて報告となる訳です。お話によりますと4つの段階、優・良・可・危機的状態があるようで、当クラブは優ということだそうです。ただニコニコボックスが2560地区の平均よりも若干少ないようで、もう少し頑張りなさいと言われてきました。また、出席率を落とさないようにとも言われました。90~92%ですとうっかりすると80%台になるので頑張りなさいと。当クラブは43年の歴史から80%台は2回しかなかった訳です。今後ともご協力のほどお願い申し上げます。

本日9時30分より東本成寺の総合福祉センターで月ヶ岡養護学校・特殊学校の卒業・進級を祝う会があり出席して来ました。式典の終了後は楽しくゲームを行ないました。県警の音楽隊が来て約1時間にわたり子供さんの喜ぶようなアンパンマンやドラえもんの歌など踊りたくなるような曲を演奏され、若い先生方の指導もあって子供達は大ハッスルしていました。県警音楽隊もハッスルしてアンコールを2曲演奏しました。大変楽しい会でした。気の毒とか、かわいそうという見方をすると偏見ですが、しかしながらまた頑張りよと励ますことも何かハンデがあるから頑張りと言っているみたいで偏見のようで、複雑な気持ちで約3時間過させていただきました。若い先生方の頑張りとお父兄の皆さん方の本当に温かい保護で頑張っておられる訳です。養護学校の皆さんのところでは家庭崩壊はないと聞きましたが子供を守る親心を見ますとまさに献身的でそのような家庭では崩壊はないと感じました。私にとって大変有意義な時間でありました。簡単ですがご挨拶いたします。

## 幹事報告

西山徳厚幹事

◎高木ガバナーノミニ事務所より  
1999~2000年度 国際ロータリー第2560地区委員依頼状がとどいております。  
地区諮問委員——藤田説量殿

## 3月のお祝い



### ◎会員誕生祝

- 2日 日戸平太さん
- 3日 吉田俊衛さん
- 6日 小林英雄さん
- 8日 長澤 正さん
- 15日 岩井和夫さん
- 16日 小出子恵出さん
- 21日 福井良英さん
- 24日 山浦日出夫さん
- 27日 宮尾栄一さん

### ◎夫人誕生祝

- 11日 渡辺洋子さん(嘉彦)
- 16日 熊倉恵子さん(昌平)
- 21日 小林房子さん(九満太)
- 23日 加藤一代さん(紋次郎)
- 26日 内山セツ子さん(辰策)
- 26日 川又麻稚香さん(嘉瑞範)
- 29日 野水富子さん(文治)

### ◎結婚記念祝

- 3日 吉田俊衛さん
- 16日 荻根沢隆雄さん

### ◎100%出席賞

- 1年 小越憲泰さん

## ニコニコBOX



### 細井増雄さん

ガバナー公式訪問無事終了、御協力ありがとうございました。御座居ました。

### 外山雅也さん

三条地域消防本部消防長長谷部<sup>カナメ</sup>様御多用中にもかかわらず卓話にお越し頂きありがとうございます。

### 藤田紘一さん

長谷部様卓話ありがとうございます。

### 早川昭雄さん

長谷部消防長さんの卓話ありがとうございます。

### 広岡豊作さん

お世話になってます。消防長様のご来会に感謝して。

### 五十嵐昭一さん

早退させていただきます。

### 渡辺嘉彦さん

都合により早退させていただきます。

### 佐藤 武さん

大変良い天気になりました。松縄さん、外山さん、48インチのドライバーが出番を待っています。田中さん今シーズンもよろしく。

2月17日分 ￥9,000

今年度累計 ￥477,000

## 卓 話

### 「地域消防について」

#### 三条地域消防本部

消防長 長谷部 枢 殿



只今ご紹介いただきました三条地域消防本部消防長の長谷部です。皆様には日頃より消防行政につきましてご指導ご協力をいただき厚く感謝申し上げます。本日は広域という聞き慣れない消防行政の中でお話を申し上げますので、ご理解をいただければ有難いと思います。

消防という言葉につきましては戦前は自警団とかの名前で出ており、昭和22年に消防組織法が改正され、消防という名前は各市町村が責任をもってやるべきであるということになりました。昨年3月東京武道館で皇太子ご夫妻、橋本首相、衆参両議員議長の列席のもと、約9000名の全国の消防関係者の自治体消防発足50周年記念が行われました。さて、なぜ消防は市町村なのかと申しますと、関西のある雑誌にこのように記載されてきました。終戦時にアメリカ軍が恐れたと申しますか、当時はまだアメリカ軍が日本に大勢駐留しており、先ず日本の国の治安をどうするかということが最後の最後まで協議されたという事で国は当分の間はアメリカが面倒を見る、一般的な治安体制での

警察は都道府県が良いだろうと。一番地味であるが恐れていたのは自警団、あるいは消防という町内の組織だそうです。当時は何百万人もいて郷土愛という形で集まるのを非常にアメリカが恐れたということでした。それならば消防は各市町村にまかせた方が力が分散され、あるいは力を発揮することが出来ないだろうと、こういうような形で出来たいきさつであります。消防関係の大きな問題は消防用の設備です。それは消防用設備の法律が追いつかないことです。景気が良くなればなるほど建物の高層化あるいは雑居ビルの問題、またホテル、旅館、危険物等、法律が追いつかない中で今日までできた訳です。一番大きな変化を見たのは、やはり昭和40年代であろうと思います。その中で現在私も全国消防長会の予防委員会に所属していますが、10の事業があり、危険物とか法律とかいろいろの形の中で年2回会議があります。法の改正につきましても国の先生方だけで決められた中ではなかなか実情がわからない状態です。私達の会議に国の方から課長が来られますので提案いたします。現在の法律よりこのような方法がいいのではないのでしょうか、という形で申請しますと大体翌年国会で決まる訳です。

正月の3ケ日間、各事業所がお休みになりますが、私達は今日は昼から休むとか、今日は寒から休むとかいうような事はできません。365日、盆、正月は関係なく同じサイクルで仕事しております。その中で消防概況の説明をさせていただきます。表紙は昨年9月井栗地区の第四中学校で三条市の防災訓練の時の写真です。今まではどちらかというと消防演習でしたが、今は防災訓練となっております。

### 1. 消防本部・本署・分遣所配置図について

従来は三条市消防本部消防署という形で国、県の指導のもとで栄町と下田村と広域化した中で面倒をみるようにという強い方針でした。栄町も下田村も消防自動車を出し、消火する業務だけでその他の行政上の運用は一切していませんでした。そのような形の中で当時常備消防がないのは県下では下田村と中蒲原郡横越村だけでした。平成6年に指導を受け、平成8年4月からそれぞれの関係機関の指導と協力を得て、名称も三条地域広域事務組合の一部として三条消防地域本部が発足した訳です。

本部はジャスコ向いの裏館にあり、栄分署については当時建物が共済組合とかいろいろの形も一緒に入っておりましたが今は栄分署のみで使用しています。下田村については長澤郵便局の隣の村有地を利用し、新築し、現在業務を行なっています。中央分遣所・東分遣所・南分遣所について

はそれぞれの場所にあります。これらも当初は人口8万7000人位の中でこれだけ小さい市の中で出張所が3カ所もあるのは珍しく、当時は北信越では随一の消防力の基準でありました。よそと比べて震災にもあわない、地震も大きなものが最近はない、また道路状況、あるいは弥彦線の高架になる前でしたので3カ所設けさせていただきました。この地域は面積が非常に広く、守門岳や栗ヶ岳の頂上まで守備範囲です。県外からの消防機関が大勢視察に来られると面積の大きさに皆驚きます。余談ですがそのような時、資料を作成し待機しコピー代も出してお茶の準備をして対応いたしますと、全然地元にお金をおとしていかないのであります。三条は交通の便が良い訳で、なかには新潟まで飛行機で来て観光バスで来条し、2時間位いてそのあとどこで宿泊するかという月岡、岩室、弥彦等であり、帰りは魚のアメ横へ寄って帰るとい形になっている訳です。平成3年頃、私が警防課長をしていた頃、何か割にあわないと思い、お金をおとす方法はないかと考え、地場産へ連れて行って買い物をさせていただきました。70万円位の買い物をさせていただいたところもありました。

近年、懸念していますのは釣り雑誌で当地域を全国的に紹介される場合があり、最近では関東の人がどんどん入ってきます。そして、やはり装備不足があります。大谷ダムの上流は工事が進んでおります。新潟県側については新潟県土木、只見町については福島県土木が担当し、中央の困難な場所の工事については建設省長岡工事事務所が担当しておりますが、その中で数年前に測量を担当した民間会社の人が亡くなりました。従って通信網の確立とヘリコプターの基地を作るべきと考え、今は携帯電話の届くところ、あるいはヘリポート基地の確立ということで完備されました。山が深く2年前には大阪に本社のある一部上場の東京支社の方が守門から滑落し重傷で県の防災ヘリで救出されたことがあります。治癒されてからお礼に来られましたが、私も今後こちらの山に来ないで関東の山へ行かれたらと申し上げたところ、写真が趣味とのことで、雪解けの雪国の山野草は大変素晴らしい花でこのような花は関東にはないから来ると言うのです。そして、今後は注意しますとのことでありました。そのような例と同じように山菜取りも非常に多く困っている状態です。また職員は365日、一分たりとも業務を休んでいません。例えば栄分署、下田分署にいたしましても皆さんの日曜日にあたる休みも含んで常時8名程度勤務をしています。市内3分遣署についても同様に4名程度勤務しています。

## 2. 消防費予算状況について

消防の諸機材については既製品ではなくすべて手づくり部分が多く、従って高くつくのが悩みです。一例で消防自動車についても相当の年数を使用する訳ですから修理するにもメーカーに部品がない状態ですので十分な整備が必要となっています。

## 3. 消防相互応援協定締結状況について

新潟県は消防、災害等は全国に比較して災害を経験している関係で遜色ない協定となっています。県央は11市町村で締結しています。北陸自動車道は上りは中之島まで、下りは巻・潟東まで担当しています。昨年燕の山王付近に事故がありこのような交通事故の場合、救急車あるいは救急隊員が二次災害に巻き込まれる危険性もありますので救急車の安全確保のため救助工作車を出すこともしています。新潟県の消防防災ヘリコプター応援協定については消防防災ヘリに副隊長として1名を三条から派遣しています。資格が難しく先ず救急の資格が必要で、かつ消防学校の大学で学び、資格を取る必要があり苦勞が多いのです。家庭を棄ててまでのような感じで苦勞をかけています。また山の遭難では昨年4回出動しました。

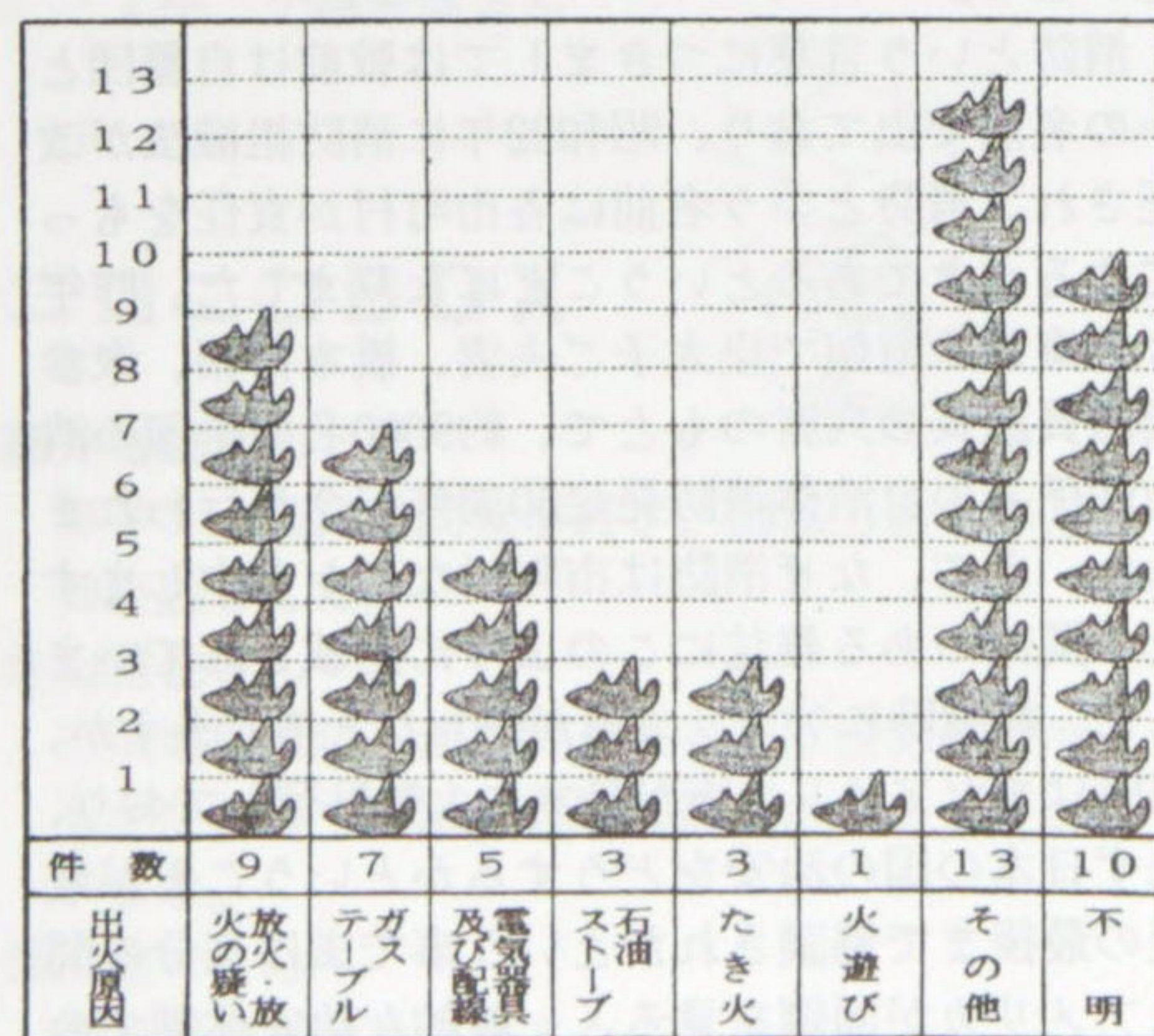
## 4. 平成10年火災発生場所について

管内の火災の発生件数ではこの地域は昨年51件でした。過去5年間の火災状況で死者が年間1人～2人でありましたが平成10年は6人死亡となりました。また、発生後に亡くなる場合もあります。

## 5. 原因別出火件数と要因について

タバコの不始末が昨年なかったことで、これは幸いです。出火別要因では、ガステーブルがあります。これは天ぷら鍋からの出火です。年令的には20代・30代の方が子供の育児におわれているとき、それと40代・50代の方の場合は長電話です。これは聞き取り調査の結果です。

三条地域の原因別出火件数（平成10年中）



## 6. 救急業務について

昭和38年に法律上、各市町村が救急業務をやることになりました。昭和38年6月27日頃、日産セドリックのライトバンで片方に済生会、片方に消防署の名前を入れました。これが最初でその後整備され現在本部に3台、下田村・栄町にそれぞれ1台となり、すべて13分位のところにはカバーできる状態となっています。救命士は広島県で研修を受け国家試験を取得する訳です。今年は救急車

の出動回数が大変多いです。このままでは年間2500回位になりそうです。一時的には80%以上が三条市内の病院でお世話になっています。また隣接の市内の病院へもお世話になることもあるので、相互協力という意味でお願いに行っています。

まとまりのないお話で恐縮ですが、現在の広域消防の運用あるいは今後の方針についてひとつでも多くご理解をしていただければ有難いと思います。今日は大変ありがとうございました。

平成10年の消防業務の概要

管轄別	項目	人口	世帯数	行政区数	職員数	火災		救急		救助	
						件数	出火率	出動件数	搬送人員	出動件数	救助人員
三条地域合計		110,537	31,395	236	152	51	4.6	2,289	2,255	79	19
拠点別	本署	24,451	7,506	40	82	11	4.5	1,847	1,823	79	19
	中央分遣所	19,670	6,086	33	10	12	6.1				
	東分遣所	26,988	8,173	35	10	10	3.7				
	南分遣所	13,862	4,138	24	10	4	2.9				
	栄分署	13,630	3,159	45	20	7	5.1	224	221		
	下田分署	11,936	2,783	59	20	7	5.9	218	211		
市町村別	三条市	86,576	25,921	138	112	36	4.2	1,882	1,860	57	13
	栄町	12,025	2,691	39	20	8	6.7	188	183	15	4
	下田村	11,936	2,783	59	20	7	5.9	219	212	7	2
	合計	110,537	31,395	236	152	51	4.6	2,289	2,255	79	19

※ 人口、世帯については平成10年11月末現在。




例会案内

三条RC	3月10日例会	会員卓話
	3月17日例会	外部卓話

メイクアップをどうぞ

三条南RC	3月8日例会	会員卓話
	3月15日例会	会員卓話
三条北RC	3月9日例会	職場例会 於 おゝ乃
	3月16日例会	会員卓話
加茂RC	3月11日例会	外部卓話
	3月18日例会	夜例会「地ビールとワインのタベ」
燕RC	3月11日例会	会員卓話
	3月18日例会	会員卓話
見附RC	3月11日例会	会員卓話
	3月18日例会	会員卓話